

作業計画と実績

2014年2月19日現在

月日	曜日	予定 (2/10週間予定表より)				実績			
2月10日	月	・超高感度4Kカメラシステムによる機能確認	Hicari 実験	MEDAKA 実験 (短期蛍光 観察)	[継続実施中] ○船内利用 ・「きぼう」船内の宇宙放射線計測 (Area PADLES) ・Stem Cells実験 ・Space Pup実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション (SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視 (MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得 (SMILES)	・超高感度4Kカメラシステムによる機能確認	Hicari 実験	MEDAKA 実験 (短期蛍光 観察)	[継続実施中] ○船内利用 ・「きぼう」船内の宇宙放射線計測 (Area PADLES) ・Stem Cells実験 ・Space Pup実験 ○船外利用 ・宇宙環境計測ミッション (SEDA-AP) ・全天のX線天体の監視 (MAXI) ・4K極低温機械式冷凍機の技術データ取得 (SMILES)
2月11日	火	米国の超小型衛星放出				米国の超小型衛星放出			
2月12日	水	米国の超小型衛星放出				米国の超小型衛星放出			
2月13日	木	米国の超小型衛星放出				米国の超小型衛星放出			
2月14日	金	米国の超小型衛星	Aniso Tubule 実験 (3回目)	Dynamic Surf	・ポート共有実験装置 (MCE)の実験機器の運用	米国の超小型衛星放出	Aniso Tubule 実験 (3回目)	Dynamic Surf	・ポート共有実験装置 (MCE)の実験機器の運用
2月15日	土	・超高感度4Kカメラシステムによる機能確認						米国の超小型衛星	
2月16日	日								

日付は日本時間

- 略語 MEDAKA実験: メダカにおける微小重力が破骨細胞に与える影響と重力感知機構の解析
(代表研究者: 工藤明 東京工業大学大学院理工学研究科教授)
- Dynamic Surf: 高プラントル数流体のマランゴニ振動流遷移における液柱界面の動的変形効果の実験的評価
(代表研究者: 鴨谷康博 ケースウェスタンリザーブ大学 機械・航空宇宙工学部門 教授)
- Aniso Tubule実験: 重力による茎の形態変化における表層微小管と微小管結合タンパク質の役割
(代表研究者: 木下恭一 JAXA宇宙科学研究所主幹研究員)
- PADLES: ライフサイエンス宇宙実験のための受動積算型宇宙放射線計測技術
- Hicari実験: 微小重力下におけるTLZ法による均一組成SiGe結
(代表研究者: 木下恭一 JAXA宇宙科学研究所主幹研究員)
- Stem Cells実験: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
- Space Pup実験: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- SMILES: 超伝導サブミリ波リム放射サウンド
- MCE: ポート共有実験装置